

公益社団法人日本PTA全国協議会 におけるデジタル関連の取組について

令和2年12月21日(月)





アジェンダ

1. (公社)日本PTA全国協議会のご紹介
2. PTAにおける取り組みについて
 - ①子どもとメディアに関する意識調査について
 - ②(事例紹介)日本PTA関東ブロック研究大会
3. まとめ



1. (公社)日本PTA全国協議会のご紹介



1. (公社)日本PTA全国協議会のご紹介

公益社団法人日本PTA全国協議会
(以下、日本PTA)は、64地方協議会
(47都道府県 + 17政令指定都市)で
構成されており、全国約26,000校、
約800万人の会員が所属する「**日本
最大の社会教育関係団体**」です。



1. (公社)日本PTA全国協議会のご紹介

【綱領】

本会は、教育を本旨とし、特定の政党や宗教に偏ることなく、小学校及び中学校におけるPTA活動を通して、わが国における社会教育及び家庭教育の充実に努めるとともに、家庭、学校、地域の連携を深め、子どもたちの健全育成と福祉の増進を図り、以て社会の発展に寄与する。



1. (公社)日本PTA全国協議会のご紹介

- ①全国大会事業
- ②調査研究事業
- ③表彰事業
- ④広報事業
- ⑤国際交流・研修事業
- ⑥教育支援助成事業
- ⑦協賛事業
- ⑧関係機関に対する要望等
- ⑨関係団体等との連携・協力

- …全国研究大会
- …全国規模の意識調査等
- …優良PTA、広報紙、三行詩等
- …日P新聞、WEBページ等
- …中学生対象の国内研修等
- …被災地の子どもへの支援等
- …優良商品、映画の推薦等
- …関係府省庁への要望等
- …高P連や全附連との連携等



2. PTAにおける取り組みについて



①子どもとメディアに関する意識調査 について



①子どもとメディアに関する意識調査について

本意識調査は、平成14年度から平成17年度まで「テレビ・メディア・インターネット等社会環境についての意識調査」として実施し、平成18年度からは子どもを取り巻く社会環境の変化に対応すべく「**子どもとメディアに関する意識調査**」として、今年度を含めて**計16回**実施しております。



①子どもとメディアに関する意識調査について

調査対象は、全国の**小学校5年生約2,500人、中学校2年生約2,500人、その保護者約5,000人**であり、調査項目は以下の通りです。

- 1:テレビ
- 2:ゲーム
- 3:スマートフォンや携帯電話
- 4:スマートフォンや携帯電話、パソコン(タブレット端末を含む)
によるインターネット利用
- 5:休校中の「自宅での学び」(**新型コロナウイルス感染症拡大による
休校措置における令和2年度特別設問**)



①子どもとメディアに関する意識調査について

意識調査は、子どもや保護者を取り巻く社会環境や社会情勢の**変化に対応した設問と普遍的な設問**を併せ、その時代の子どもと保護者の意識と時代を超えた縦断的な意識の違いをとらえています。

情報・通信技術のますますの発展、一層進むグローバル化と少子高齢化、さらには変貌し続ける社会の中で生きる子どもたちのコミュニケーション及び学びと遊びの変化について考察し、**家庭教育の実践のために有用な資料・情報となる報告書**にまとめております。



①子どもとメディアに関する意識調査について

【通話以外の機能】

- ◆小学5年生は「メール」が**49.7%**でダントツです。
- ◆中学2年生のベスト3は、「**ネット検索、閲覧**」が**72.3%**、「**SNS**」が**70.8%**、「**ネット動画の視聴、投稿**」が**68.6%**です。
→この機能の中に「**いじめ**」や「**犯罪**」に巻き込まれるなどの原因が隠れている可能性があります。



①子どもとメディアに関する意識調査について

【スマートフォン・携帯電話で起こること】

◆小学5年生

- 「つい長時間、SNSやゲームに夢中になる」27.0%
- 「つい長電話してしまう」11.9%

◆中学2年生

- 「深夜でもSNS等のやりとりをする」31.8%
- 「実際には会ったことがないネット友達がいる」18.6%
- 「ネットを通じて同年代の異性と知り合ったことがある」10.2%

→**ネット依存傾向**の中学生は**半数**を超え、小学生では**3割弱**いることが分かりました。また、中学生では、**ネットを通じて、会ったことのない友達や異性との出会いの場**になっている点も課題です。



①子どもとメディアに関する意識調査について

【子どもが受けた被害・迷惑】

中学2年生の回答は392件あり、その中で何らかの被害を受けた人は149件(小学5年生は22件)でした。それらの中で「**チェーンメール・迷惑メール・未承諾広告**」が多くあり(38件)、次が「**知らない人からの連絡や、SNSでの友人登録**」(26件)、「**架空請求等での金銭の請求**」(25件)です。昨年度に比べて件数自体は減っていますが、見逃せないデータです。



①子どもとメディアに関する意識調査について

【ゲームに対する支払い状況】

◆購入・課金サービスを利用しない

小学5年生…89.3% 小5保護者…95.5%

中学2年生…90.1% 中2保護者…93.0%

→保護者の知らないところで**購入や課金**を行っている可能性もあります。

保護者の適切なチェックが必要です。



①子どもとメディアに関する意識調査について

【家庭内ルールの現状】

◆ルールの認識があるか？

小学5年生…56.8% 小5保護者…70.0%

中学2年生…57.2% 中2保護者…76.8%

→**子どもと保護者との認識に大きな差**があることが解ります。言葉だけではなく、書面にてルール作りを啓発することが、安全を守ることにつながります。



①子どもとメディアに関する意識調査について

【家庭内ルールの現状】

◆ルールの内容は？

小学5年生	使用方法やマナーについて(食事中は使わない)	75.3%
	使用について(個人情報や悪口は言わないなど)	73.2%
	使用料金の制限について(たくさん使わないこと)	70.2%
中学2年生	使用方法やマナーについて(食事中は使わない)	74.9%
	使用料金の制限について(たくさん使わないこと)	65.0%
	使用内容について(個人情報や悪口は言わないなど)	64.7%



①子どもとメディアに関する意識調査について

【家庭内ルールの現状】

ルール作りは、ICT機器を持たせる保護者の責任であり、義務でもあります。

また、子どもに対しても自覚を促し、子ども自身にも義務が生じることを認識させることが大切です。

**ルール作りと実践、保護者のチェックは
重要な家庭教育の一環です。**



①子どもとメディアに関する意識調査について

スマホ・ケータイ利用について
正しく楽しく安全に利用するために
わが家のルールを話し言いましょう！

ルールの例

- 夜は何時までときめ、深夜は使わない。
- 自宅で使用する場所をきめる。
- 充電器はリビングに置く。
- 友達を傷つけるような使い方をしない。
- 知らない人からのメールには返信しない。
- 変なメールがきたり困ったことがあれば、すぐに保護者に相談する。
- ルール違反があった場合は、携帯電話の使用を禁止する。

わが家のスマホ・ケータイ誓約書

1. 利用時間

- 1日()時間まで
- 夜()時をすぎたら使用しない
- 食事中・勉強中・入浴中には使用しない

2. 利用内容

- フィルタリング(有害サイトやアクセス制限サービスを必ず利用し、はさない)
- 有害サイトや違法サイトにアクセスしない
- 個人情報や悪口を書き込まない
- アプリをダウンロードするときは保護者の許可を得る

3. 利用料金

- 利用明細(ゲームアイテム・有料サイトなどを購入していないか確認する)
- 約束の金額を超えないようにして、おこづかいの範囲で利用する

4. わが家の特別ルール

上記の誓約を守らなかった場合は、スマホ・ケータイを返却する

年 月 日

子どもの
サイン

保護者の
サイン

「わが家のスマホ・ケータイ誓約書」は、家庭で保管しましょう。



青少年のインターネット利用に関するアピール

2014年5月23日

- 保護者は、子どものスマートフォン・携帯電話等の所持に関して、**責任**を持ちましょう。
- 保護者は、子どもが利用する様々なインターネット接続機器を**把握**し、**ペアレンタルコントロール**をおこないます。
- 保護者は、インターネット端末機器の所持に関わらない**情報モラル教育**や**情報活用能力の育成**をおこないます。
- 日本PTAは保護者の**ペアレンタルコントロール**や**情報リテラシー・モラル**に関しての**理解・共有**を促進します。
- 日本PTAは青少年が利用する**インターネット環境整備**に関し、あらゆる関係機関と**連携・協力**します。

公益社団法人 日本PTA全国協議会



①子どもとメディアに関する意識調査について

**ネットに接続できるスマホ・ケータイ、ゲーム機、音楽プレーヤー。
使い方をまちがえると、気づかないうちに危険にまぎこまれてしまうことを知っておこう！**

待たせる責任 持つ自覚

**個人情報流出
画像流出**

**高額請求
クリック詐欺
架空請求**

**LINEやメール
SNSでのトラブル**

**有害サイト
ゲーム依存
ネット依存**

**悪口いじめ
仲間はずれ**

**昼夜逆転
不登校**

ネットいじめ

SNSやブログ上で、フルネームを公開し中傷する等、個人に対する不適切な書き込みが多く見つかっています。それが更なるいじめやトラブル、事件へ発展するケースもあり、深刻な問題となっています。

ネットトラブル

架空請求やワンクリック詐欺の被害以外にも、無料ゲームの中で「有料アイテム」を次々購入し、月10万円以上使ってしまったケースもあります。また、スマホで撮影した写真をネットにアップし、住所を特定される等のトラブルも増えています。

ネット依存

ゲームやインターネット等を夜中まで使い続け、生活のリズムが昼夜逆転てしまい、不登校の原因となることもあります。ネット依存症の中高生は全国で5万8千人に及ぶと推計されています（平成24年厚生労働省の調査より）。

用語解説

- S N S**: ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。LINEやFacebook等、主に友人・知人のコミュニケーションを広げるためのサービス。
- ペアレンタルコントロール**: 携帯電話やPC等のインターネット端末機器において、子どもに悪影響を及ぼす可能性のあるサービスやコンテンツに対し、保護者が視聴・利用制限をかけること。（具体的な方法は販売店で尋ねるか、製品のホームページを参照してください）。
- インターネット端末機器**: PC、携帯電話、ゲーム機、音楽プレーヤー、タブレット等、インターネットに接続することが可能な機器全般。
- 情報リテラシー・モラル**: 情報機器を利用して、情報を主体的に選択・収集し、それを正しく活用・編集・発信するための倫理。

公益社団法人 日本PTA全国協議会ホームページにも掲載しています <http://nippon-ptao.or.jp/>



②(事例紹介)

日本PTA関東ブロック研究大会



②日本PTA関東ブロック研究大会

令和2年11月14日(土)関東ブロック研究大会とちぎ大会の第2分科会(テーマ:情報)で、文部科学省のネットモラルキャラバン隊と共同で**講演の模様を録画し、ネット配信**をしました。文部科学省の行政説明から始まり、**ネット情報
アナリスト尾花紀子先生**の講演、質疑応答を行いました。



②日本PTA関東ブロック研究大会

ごあいさつ

日本PTA関東ブロック協議会の会員の皆さんにちは、第52回日本PTA関東ブロック研究大会・とちぎ大会会長の金田 淳(栃木県PTA連合会会長)と申します。通常であれば、このとちぎ大会は2,000人以上が集まり、2日間にわたり講演や研究発表が行われる予定でした。新型コロナウイルスの影響により、大会形式の変更を余儀なくせざるを得ない状況になりました。とちぎ大会実行委員会の中でも、大会の中止が妥当なのではという意見がありました。しかし、学校行事や子どもたちの様な大会が中止されてしまう中、このような状況だからこそ私たちPTAができることがあるのではないかと考え、安否を確認しつつ、会員皆様の研修の機会を確保することがある。動画配信で大会を行ふこととなりました。

今年度より小学校で本格実施になりました新学習指導要領には「これからの社会が、どんなに変化して予測困難になつても、自ら課題を自分で、自分で、自分で、自分で、それでいて思・描・書きを実現してほしい。そして、明るい未来を、共に創っていくといい」と改定に込めた想いが書かれています。新型コロナウイルスの影響で予測困難な状況の中、私たちPTAが諦めることなく、子どもたに前向き姿勢を示すことは何より大切なのではないかと感じています。

動画配信での大会のため、講演の使いづらいや会場の雰囲気などを直接に感じることはできませんが、より多くの人の研修の機会があるといふことを考え、研究大会会体が身近に感じられるよう講演の内容や、サイトのデザインなども工夫いたつもりです。

是非1人でも多くの会員の方々に、参加(観覧)いただきたいと願っております。

とちぎ大会会長
(第52回日本PTA関東ブロック研究大会)
金田 淳

大会名

第52回 日本PTA関東ブロック研究大会 とちぎ大会

大会趣旨

PTAは、保護者と教育者の連携であり、「社会教育」の体です。学校で行われるのが「学校教育」、家庭で行われるのが「家庭教育」と呼んでいます。それが、並々たるものでない事実が「社会教育」です。

子どもたは、家庭、学校、地域をつなげて来たり、なら生じ、学校、成長していきます。家庭での生活が学校での学習等に活き、学校で一緒に学んだり人の心の芽地図に繋がります。子どもたちの成長と、競と連携を進めていきたいです。

より良い保護者と学び舎員であるために、日々学ぶことや研修ができるよう、子どもたちのより良い成長のために何よりも大切です。学び、そして成長を譲ることで成し得ることがPTAであります。それが「社会教育」になります。

PTAは、共に学び組む組合であり、各学年PTAがそれぞれ活動ができる、自分を高められるからできるよう研究・研修を行っています。これまで開いた成長と学び舎員をもとに、とちぎ大会は、子育てを通して得一一会の出会いでつながりながら、家庭の役割など様々な問題を解決して積極的に向き合っていかたいと考えます。

そして、とちぎを発展する車から運んで生きる子どもたちのために、子どもと一緒に成長していく保護者・教職員として互いに学びを深め合っていきましょう。

～ともに学ぼう 輝く未来の子どもたちのために 教育は家庭から～

大会スローガン

とちぎ発一期一会 ～ともに学ぼう 輝く未来の子どもたちのために 教育は家庭から～

主 催

関東ブロックPTA協議会

主 管

栃木県PTA連合会

後 援

文部科学省 / (公社)日本PTA全国協議会

栃木県 / 栃木県教育委員会・宇都宮市・宇都宮市教育委員会

栃木県連合教育会・栃木県小学校長会・栃木県中学校長会

栃木県高等学校PTA連合会

(公社)日本教育公務員弘済会栃木支部・(一社)栃木県PTA教育振興会



[大会シンボルマーク]

デザインの由来 本日のシンボルであるトチノキの葉やサクランボの葉、イチゴを入れて栃木県を強調しました。真ん中の鳥羽のオオルリはスズーリーと「未来美」に向かっている子どもたちを表す。それを囲んでいるような形は、いつも私たちを守ってくれる鷹や地域の方々を表しました。また、この手は、PTAが「共に学ぼう」という意味を込めて、互いに支えている形にしました。

TEL./028-622-2833 FAX./028-622-2834 E-mail./info@tochigi-ptajr.jp

第52回 日本PTA関東ブロック研究大会

とちぎ大会

令和2年 (2020年) 11/14 土

とちぎ発一期一会

～ともに学ぼう 輝く未来の子どもたちのために 教育は家庭から～

大会初 記念講演も! 研究発表も!! “とちぎ大会”が見放題!!

動画配信決定!

会期 2020年11/14(土)~2021年2/13(土)まで

PTA活動の一助として、ぜひご覧ください。

学校でも 家庭でも 同度でも!

誰でも カンタン3ステップ!

1 PC・スマートフォンなどからアクセス!

アカウント登録: https://l-ptajr.jp

2 IDとパスワードを入力

アカウント登録: https://l-ptajr.jp

3 “とちぎ大会”を視聴

アカウント登録: https://l-ptajr.jp

PTA会員限定配信

ID/パスワードは、配布される案内チラシをご確認いただくか、
所属の各地方協議会、または栃木県PTA連合会までお問い合わせください。

主催: 関東ブロックPTA協議会 主管: 栃木県PTA連合会



②日本PTA関東ブロック研究大会

栃木県にゆかりのある豪華講師陣たちが
熱いメッセージを発信!

各地の
研究発表も
同時配信!

記念講演 子育て対談

ロックシンガー・俳優
ダイアモンド草ユカイ氏
(セガサミ人気作家「アラブアラビア」著者)

動画
配信

1962年東京生まれ。1986年伝説のロックバンド「RED WARRIORS」のボーカルとしてメジャーデビュー。芸能界で活躍の1989年から93年の活動休止期間、日本武道館で音楽鑑賞会を開催。その後、「ダイアモンド草ユカイ」として、ソロ活動を開始する。著書は、子育て活動を中心とした書籍・雑誌・音楽CDなど。

脚本「トニー・ストライヤー」で第1回日本芸術大賞「脚本賞」を受賞。2015年12月には、山田邦輝監督とコラボ劇「TROLL-B DINOSAUR」を観客満足度No.1で上演。2016年は、ミュージカル「ミミ・サイン」エグゼクティブ役で出演。昨年2018年は、『アラブアラビア』の著者として、アラブ半島の歴史と文化を紹介する著書を発表。2019年に新著「アラブアラビア」(著者)として出版予定。2020年は、新著「アラブアラビア」(著者)として出版予定。

脚本「トニー・ストライヤー」で第1回日本芸術大賞「脚本賞」を受賞。



第1分科会

地域

子どもたちを取り巻く地域力の向上 ～人と人の信頼関係づくりが地域づくりへと～

地域においては、より良い地域社会をつくるために、地域力向上に向けて取り組んでいます。「団結力」に負けるなり、「地域で心ひとつに、メッセージとともに繋いでいます。この困難に力を合わせて乗り越えましょう。

【講演】
宇都宮市立高崎小学校PTA・令和元年度会員 田中 健一 「PTAでできることとできないこと」
宇都宮市立高崎小学校PTA会員 鈴木 弘志 「子どもたちの地域の安全を守るPTA活動」
鈴木 弘志 氏

第2分科会

情報

広報活動、情報モラル・情報活用能力の育成 ～ネット社会を生きる子どもたちとともに歩む～ (兼)文部科学省事業「ネットキャラバン隊」

インターネットや情報機器の普及・情報技術の活用化により、様々な問題私たちを取り巻く情報社会。最新の生活様式で次の世代を育むアプローチとは?デジタルツールを駆使して、また活用しているらしいのが、今一度考えてみましょう。

【講演】
尾花 紀子 氏
ネットキャラバン隊

第3分科会

安全

子どもたちの 安全・安心

～安全・不登校・引きこもりとは～

子どもたちが不登校や引きこもりを進む理由は何なのか、不登校や引きこもりにならないのはなぜなのか、安心・安全という観点から子どもたちの心の「今」を見つめています。

【講演】
安心・安全な学校・地域
～不登校・ひきこもりについて考える～
一般社団法人
日本PTA会員登録委員会代表理事
中野 謙作 氏

【講演】
今、離れて
～不登校・ひきこもり経験から
東立たれた想い
高橋フリースペースによる卒業生生徒
示波 貢恵 氏

【講演】
令和元年度会員
上野 浩治 「子どもをやりとり・協力しやすい学校・地域とともにPTA」

【講演】
高橋市立中野山小学校PTA・令和元年度会員 太村 能一 「PTAと地域が連携し、各自の専門性を活かすことで安心安全マップ作りを通して」

【講演】
教育は家庭から
～親から引き継ぐ言葉のちから～

子どもたちの言葉は、身の回りの音声で変化します。日本語の強さや間違などを正しく表現を伝える「言葉が伝える力」を伸ばします。全国の小学校で行われている发声授業の事例をご紹介しながら、今できることを考えます。

【講演】
发声授業の現状と、子どもたちの「伝える力」
～2020年教育改革をえたたき、新たにできること～

これもオナウンス見声聯合会代表 ナックサー

常世 晶子 氏 茂木 亜希子 氏

【講演】
令和元年度会員
印波 彩乃 「みんなが笑顔へ...~楽しいPTA活動~」

【講演】
高橋市立中野山小学校PTA・令和元年度会員 田中 健一 「保護者会の運営と実践」

【講演】
宇都宮市立高崎小学校PTA・令和元年度会員 田中 健一 「みんなが笑顔へ...~楽しいPTA活動~」

【講演】
宇都宮市立高崎小学校PTA・令和元年度会員 村井 邦彦 氏

第4分科会

家庭

心身のセルフコントロールができる 子どもたちの育成 ～命の大切さを伝える～

「人生100年時代」と言われる今、新たな形の「コロナウイルス感染症」が世界で完全に収束しない現状、自らの心の健康監視は、最も重要な生き方力と考えられます。環境の・社会的要素も踏まえながら、スクールについて学び合ひ、日々の生活を豊かにつづけ代を引き強くスキルを獲得し、子どもたちへ届けてまいります。

【講演】
SDH(健康の社会的決定要因)と
新型コロナウイルス感染症

宇都宮市立高崎小学校PTA
宇都宮市立高崎小学校PTA
村井 邦彦 氏

【講演】
高崎市立高崎小学校PTA・令和元年度会員 田中 健一 「PTAでできることとできないこと」

【講演】
宇都宮市立高崎小学校PTA・令和元年度会員 田中 健一



3. まとめ



3. まとめ

1. 現状の課題を知ること！

我々大人は、子どもに害をもたらすこと、子どもを取り巻く社会環境、教育環境に関するもっと「知る」努力をしなければならない。

2. 責任と義務を認識すること！

我々大人は、子どもの行為・行動に対して「責任」を負うと共に、その行為・行動に対して子どもに教育する「義務」が生じることを認識しなければならない。

PTAは、大人の学びを深めて参ります。



公益社団法人 日本PTA全国協議会